排水まちづくり協議会

地域の将来計画

平成27年3月

目次

1.はじめに 3

2.地域計画の進め方
2.1.基本的な考え方 4
2.2まちづくり将来計画作成委員会委員 5
2.3まちづくり将来計画作成委員会の活動経緯および今後の予定 6

3.揺水地域の概要 8

4.地域の主な問題・課題 10
4.1.満足度と重要度についての調査結果 10
4.2.「どのような地域づくりを進めたいか？」の回答について 12
4.3.地域の課題 13
4.4.地域の将来像
4.5.取組むべきテーマの設定と目指す姿

5.事業計画
5.1.分科会別の将来計画
(1)美しいまちづくり分科会 14
(2)元気に暮らせるまちづくり分科会 15
(3)交流と文化のまちづくり分科会 16
(4)安全安心なまちづくり分科会 17
5.2.具体的事業計画 開始年度順 18
5.3.具体的事業計画の詳細 19

6.資料
6.1.分科会の構成 24
6.2.「アンケートによる住民意識調査」

7.新しい地域作りのスタートにあたって 25

1.はじめに

下記は平成24年7月に「まちづくり将来計画作成委員会」が設置されたことに関し、平成24年8月20日発行の揖水まちづくり協議会「たより」74号に掲載した記事である。

事業の「検証・分析・評価」と「設計図作り」

揖水まちづくり協議会
会長　葉山　和則

平成24年度からの重点的な取り組みとして事業終了の後に

(1)「当該事業の検証・分析・評価」を行い継続・改善・廃止・新規も含めて次年度の事業計画に反映させ、 より効果的・効率的な実行・運営を行い事業の充実・進展を図る。

(2)「みんなで創る 元気で仲良く 楽しいまち」をキーワードに「動員」から「自主参画」に意識・認識を転換し〈絆〉の充実・拡大と体質強化を図る。

の2項目に絞り活動・行事の計画・実行に当たっております。

そこで24年度前半の主要事業が終了したこの時期に前述の (1)・(2)を念頭に実施済事業の目的に対する効果(達成度)・効率(時間・労力の費用対効果)をデーターに基づき検証・分析・評価し後半の事業運営に反映させる事は勿論、次年度の事業計画の資料として各実行部門において活用して頂く事こそが事業を進展・充実させる鍵で有ります。

24年度から松阪市全域(43地域)で住民協議会が発足し、それぞれに地域計画・事業計画・事業予算を作成し実施するというシステムが出来ました。

揖水まちづくり協議会としては従来からの〈絆作り〉に加えて24年度より**〈設計図つくり〉**と称してこの**地域計画・事業計画・事業予算作成**に取り組む事になりました。その第一歩が過去の事業(6年間を含む)を「検証・分析・評価」する事です。この**「過去の事業を検証・分析・評価する為の事業」**には各部会・各実行部門の皆様に加え私が特にお願いしたいのは、会員の皆様の**「参画」**であります。何故ならば「元気で仲良く楽しいまち」を皆で創るにはその〈設計図〉も又皆で作る必要が有るからです。全会員の皆様からの「参画」を期待しております。参画の方法は問いません「まちづくり将来計画作成委員会」「郷土歴史文化研究プロジェクト」等に参加頂くのもその一つの方法です。事務局はあらゆる手段と方策を考えてその環境整備を図ってまいります。

地域計画・事業計画作りは日常の活動・事業の積み重ねから出た物でなければなりません。**皆の地域は皆で考え皆で創る・・・**この意識・認識が皆様に共有される事を切望して協議会運営に当たってゆく所存です。

ご理解・ご支援の程宜しくお願い致します。

2.地域計画の進め方

2.1基本的な考え方

1.掃水まちづくり協議会内に、この地域の将来像を描く委員会を設置し、それに基づき将来の事業を行うこととする。

2.委員には協議会の役員だけでなく広く地域住民の参画を呼び掛ける。

上記に基づき平成24年5月の本部役員会で下記のように「まちづくり将来計画作成委員会の設置」を決めた。

24.5.16

まちづくり将来計画作成委員会の設置について

掃水地域の将来のあるべき姿を、この地域に住んでいる私達自身が考え、掃水地区の5年後、10年後、20年後・・・を想定し、地域のみんなが望む地域の在り様を描き、その将来像に向かって計画的に適切な施策をとる基礎に資するため、委員会の設置をする。

1.委員会の概念

まちの情報共有 ・・・・地域の状況、人の考え、参考事例など
⇩
自由な参加・参画 ・・・・意欲ある人、地域外の者も大切に
⇩
活動方針・計画 ・・・・「地域まちづくり計画」の策定
⇩
実践活動 ・・・・実行委員会形式など

（まちの情報共有・自由な参加・参画・活動方針・計画）― 委員会の任務

2.計画作り

委員会設置
・委員会（プロジェクトチーム）編成　　事務局会議委員および公募委員で構成

調査
・あったら良いもの
・何が必要か
・地域のもつ資源は？
　公共施設、地域の活動、団体、自慢できる資源、次の世代に引き継ぎたいモノ、コト
・どんな問題があるか、出てくるか？
・アンケート調査
　各年齢層へ

検討
・コミュニティービジネスの検討 「小銭を稼いで大きな生きがい」
　住民主体の地域密着型ビジネス
・共通の目標
　何事にも民主主義的な決定プロセスを経ること（熟議民主主義の場となること）
・市がすること、まちがすることの選り分け
　市の総合計画に反映させる

目標
・計画策定のステップ
　第1段階　長期計画
　第2段階　短期計画の具体案

平成24年5月本部役員会資料より

まちづくり将来計画作成委員会の設置決定を受け平成24年5月発行の「たより」で委員の公募をした。

「まちづくり将来計画作成委員会」を設置します！

あなたもまちづくりの計画作成に参加しませんか？

多くの皆様のご意見をもとに、将来どんなまちにしたいかを考えることになりました。
年齢などの制限はありません。気軽にご参加ください。

＊　お申し込みは
掛水まちづくり協議会（櫛田地区市民センター内）
℡　２８－２６７５　まで

2.2. まちづくり将来計画作成委員会委員

平成24年7月から現在に至るまでに参加した委員は下記のとおりである。

委員長	葉山　和則	伊賀町
委員	脇田　博之	安楽町
委員	宮崎　浩成	山下町
委員	小川　義治	伊賀町
委員	松井　洋子	豊原町
委員	控井　昇	豊原町
委員	高松　和彦	豊原町
委員	薗部　勉	豊原町
委員	木村　重夫	豊原町
委員	松井　淳	櫛田町
委員	今西　暉夫	櫛田町
委員	浅井　廣喜	櫛田町
委員	安達　正昭	清水町
委員	橋本　尚委	菅生町
委員	富内　修身	掛水小学校
委員	高木　幸子	掛水小学校
委員	山本　芳敬	市会議員
委員	岡本　孝雄	コミュニティー推進課
委員	久世　徹	コミュニティー推進課
委員	小路　裕弘	コミュニティー推進課
委員	中西　士典	地域づくり応援室
委員	堀口　理絵子	櫛田地区市民センター長
委員	奥田　隆利	第四地域包括支援センター長
委員	辻　幸代	社会福祉協議会
委員	奥田　和男	社会福祉協議会
委員	西村　八智郎	社会福祉協議会
委員	鈴木　由香	社会福祉協議会

2.3. まちづくり将来計画作成委員会の活動経緯および今後の予定

時期（年月日）	内　　容
平成24年5月16日	まちづくり将来計画作成委員会の設置を本部役員会で決定。
平成24年6月	委員の公募開始
平成24年7月13日	第1回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 フリーディスカッションによる意見交換開始。
平成24年8月10日	第2回まちづくり将来計画作成委員会　13名出席 フリーディスカッションによる意見交換
平成24年9月7日	第3回まちづくり将来計画作成委員会　10名出席 委員会の進め方についてフリーディスカッション
平成24年11月8日	第4回まちづくり将来計画作成委員会　14名出席 進め方について討議
平成24年12月12日	第5回まちづくり将来計画作成委員会　14名出席 アンケート実施について、アンケート内容について
平成25年1月23日	第6回まちづくり将来計画作成委員会　11名出席 アンケート内容の検討
平成25年2月27日	第7回まちづくり将来計画作成委員会　13名出席 アンケート案の決定
平成25年3月27日	第8回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 アンケートの配布・回収・データー処理方法について
平成25年4月	各自治会を通じてアンケート配布および回収
平成25年5月29日	第9回まちづくり将来計画作成委員会　11名出席 アンケート統計処理の確認、データー入力開始
平成25年6月28日	第10回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 アンケート集計データーの処理について
平成25年7月31日	第11回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 アンケート分析結果の検討
平成25年8月28日	第12回まちづくり将来計画作成委員会　15名出席 アンケート分析結果の検討
平成25年9月27日	第13回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 テーマの絞込み
平成25年11月1日	第14回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 テーマ決定および分科会の設置の検討
平成25年11月19日	第15回まちづくり将来計画作成委員会　11名出席 分科会メンバーの募集要項の検討
平成25年11月	アンケート集計結果の報告書発刊

時期（年月日）	内　　容
平成25年12月17日	第16回まちづくり将来計画作成委員会　11名出席 分科会の構成について
平成26年1月21日	第17回まちづくり将来計画作成委員会　13名出席 分科会専門委員の決定
平成26年2月6日	まちづくり将来計画作成委員会分科会全体会議 分科会の進め方について
平成26年2月～7月	分科会での将来計画の立案
平成26年8月7日	将来計画作成分科会の提言報告会
平成26年9月2日	第18回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 事業計画修正、説明会について
平成26年9月17日	第19回まちづくり将来計画作成委員会　12名出席 説明会の進め方、日程について
平成26年10月～11月	住民・関係団体への説明会・意見聴取（10/23、10/26、11/6）
平成26年11月13日	第20回まちづくり将来計画作成委員会　10名出席 説明会での意見による修正
平成26年11月25日	第21回まちづくり将来計画作成委員会　11名出席 最終案の作成
平成26年12月18日	本部役員会議での将来計画の検討・承認
平成27年1月～	27年度事業計画への将来計画の反映 市など他団体への陳情
平成27年3月	報告書作成
平成27年4月	第10回総会で将来計画（地域計画）の承認予定

夏まつり

3.捴水地域の概要

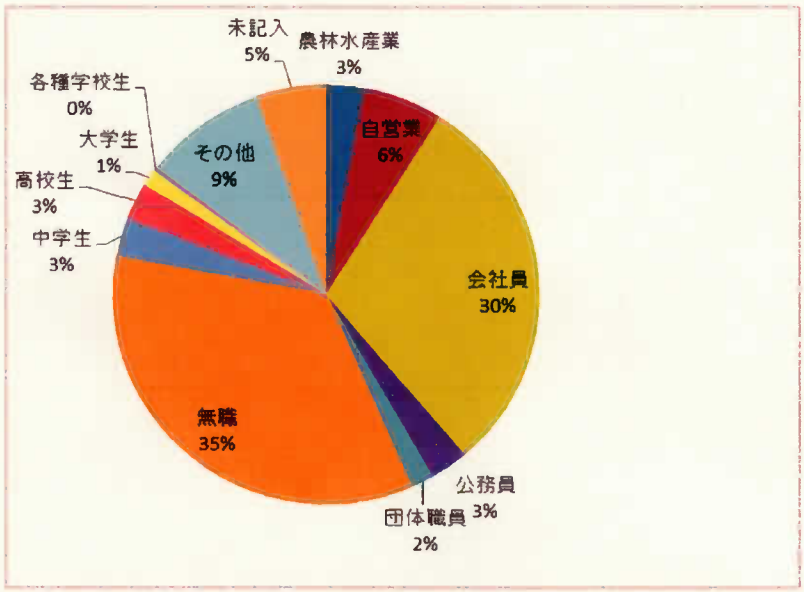
- 松阪市の東部に位置し、櫛田川下流域の左岸に位置する水田地帯と南西部にはなだらかな丘陵があり、市街地近郊にありながら比較的緑に囲まれた地域である。
  櫛田川の本流は現河道より東側を流れていた。永保3年(1083年)の大洪水後、本流が祓川より現櫛田川に移行したと伝えられる。それまでは現櫛田川と現祓川の間を乱流していたとされる。

- 往古は神宮領であり「和名抄」「延喜式」では多気(たけ)郡に櫛田郷が記載されている。北畠氏が伊勢にくるに及んでその治下に属した。
  街道は三渡より石津、幸生を経て朝田に出る街道(伊勢古道)であったが、蒲生氏郷が松阪へ築城後は松阪から櫛田地区内を通ずるように変え、現在の伊賀町、豊原町を通るようになった。街道筋は参宮道者で栄え、最近まで当時のおかん茶屋、おもん茶屋などその名残をとどめていた。
  松阪市の大半は和歌山藩領(徳川家)であったが、捴水地域は津藩領(藤堂家)であった。
  明治4年旧藩時代の制度が廃されてからは、連合戸長役場制度を経て、明治22年4月町村制の実施により豊原、櫛田、清水、菅生、上七見の五ヶ村を合併し、村名を櫛田村と称した。その後、神山村の廃村により同村の安楽、山添、山下をも合併した。
  昭和32年10月松阪市へ合併することとなった。

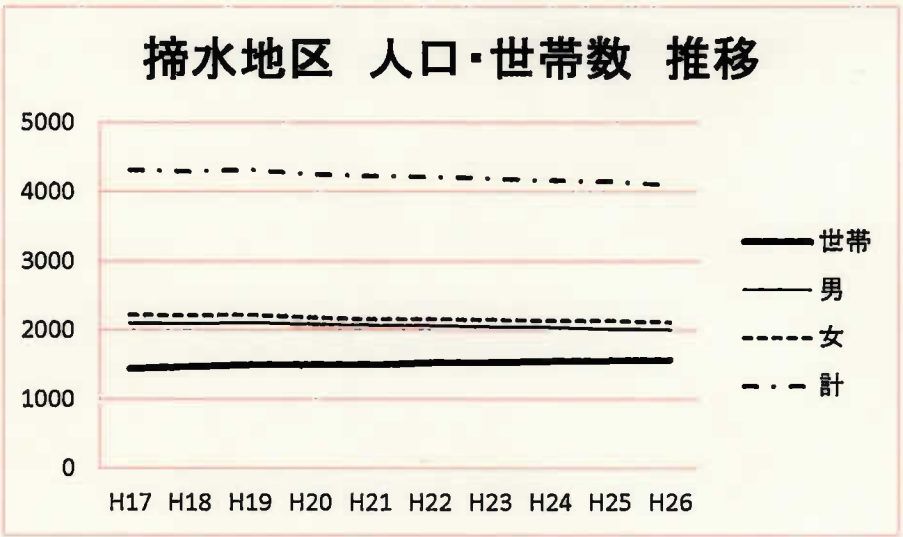
- 倭姫命に関わる飯野高宮神山神社、櫛田神社は伊勢神宮よりも古く創建されたといわれている。
  安楽芭蕉天神はかつては南勢地域から多くの信者がお参りをしていた。

- 全国各地から「お蔭参り」に大勢の人々が伊勢街道を通過し、様々な文化がもたらされたことは想像に難くない。
  明治時代になり、参宮鉄道(現在のJR)は、明治26年(1893年)津 - 宮川が開業。昭和5年には参宮急行電鉄(現在の近鉄)が松阪―宮町、伊勢電気鉄道が新松阪―大神宮前を開通させ,伊勢街道を通る参拝客は鉄道に頼るようになり,この地域の賑わいはなくなっていった。
  伊勢古道、伊勢街道、松阪総合運動公園への訪問者が増えることを期待している。

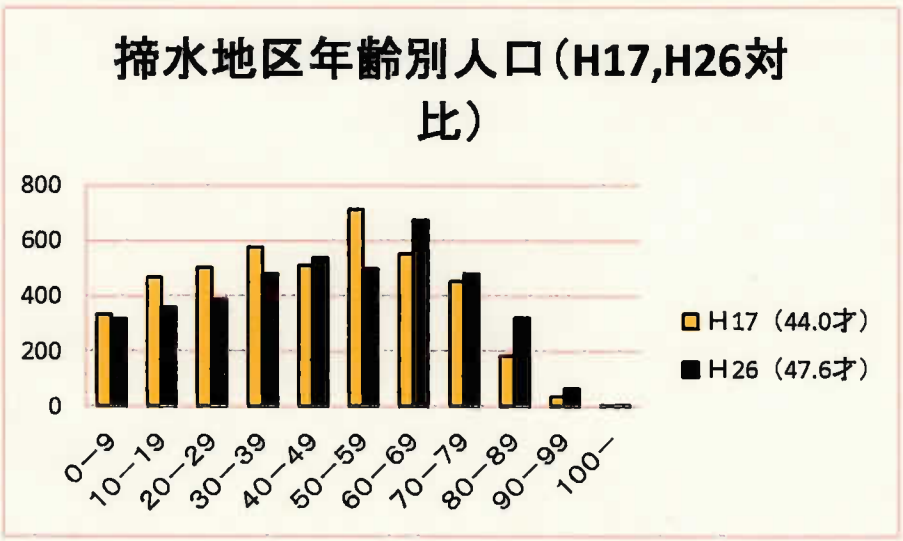
- 生活基盤としては捴水小学校、近鉄櫛田駅、金融機関、郵便局、スーパーマーケット、駐在所があり、県道37号線(鳥羽松阪線)などアクセスも良いため利便性は高く住環境は良い。
  一方で、この地域には近鉄櫛田駅を中心に都市計画で設定された都市計画区域と農業振興地があるため、住宅街と農村が混在化している。
  しかしながら、アンケート回答者の職業分布をみると専業農家は3%程度で会社員が30%を占めている。無職も35%と大きいが専業主婦や高齢の退職者が多いことが伺え、地域の大きい面積を占める田畑からの印象とは異なっている。
  (兼業農家が多いと推測される)



【人口推移世帯数】



平成17年から平成26年までの9年間の人口は5%減少し、世帯数は8.5%増加している。
核家族化が進んでいることが伺える。



年齢別人口で見ると高齢化が顕著であり、平均年齢も9年間で3.6才高齢化している。
少子高齢化が顕著である

4.地域の主な問題・課題

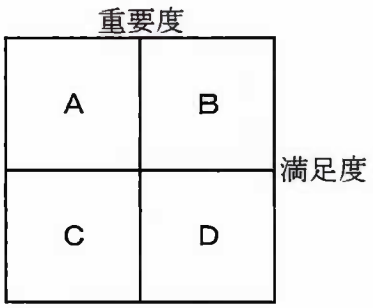
掃水地域の将来計画を策定するため、平成24年5月に「まちづくり将来計画作成委員会」を協議会内に設置することを決めた。公募委員を中心に平成24年7月に委員会の活動を開始した。

数か月に及ぶ論議の結果、地域の問題点・課題を的確に把握するため、地域の住民全体の感じ方・考え方を調査することとなった。

回答能力のある中学生以上の全員を対象としたアンケートを平成25年4月に実施した。アンケートの配布数は3,335枚。回収数は3,139枚で実に94%の回収率であり、十分にこの地域の意識が反映しているものと判断した。このアンケートの分析により、この地域の問題・課題を浮き彫りにすることとした。

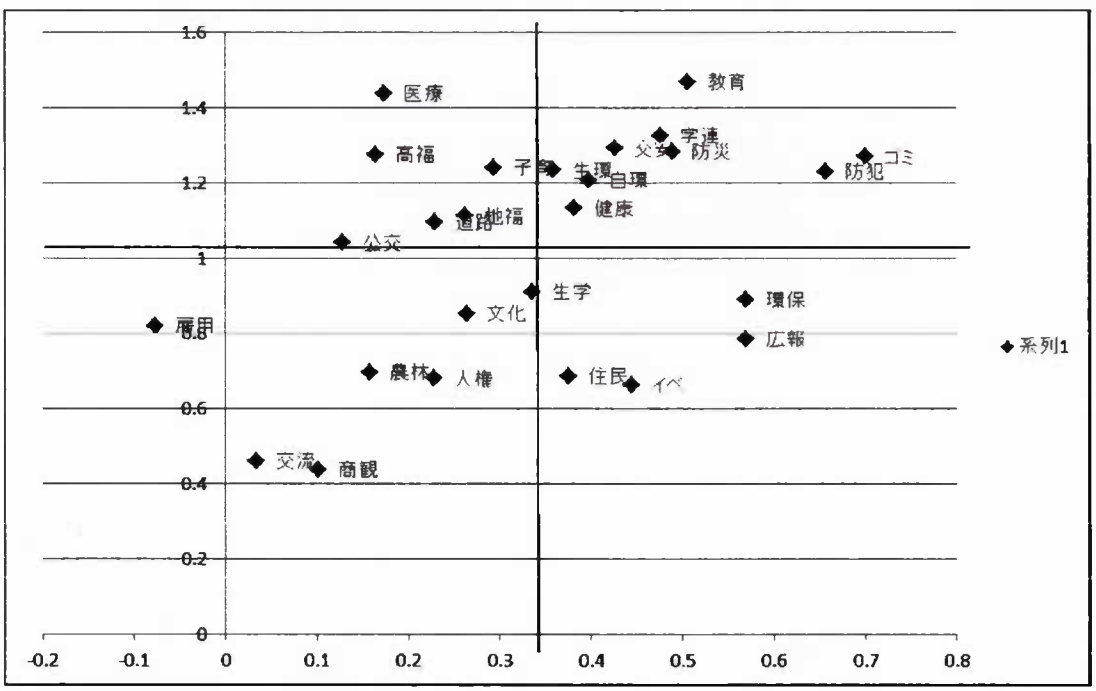
4.1.満足度と重要度についての調査結果

26項目についての満足度、重要度の評価をしてもらい、数値化をしマトリックスで表した。



縦軸を重要度(上方向が高い)、横軸を満足度(右方向が高い)とした。

地域全体の満足度(横軸)と重要度(縦軸)



Aゾーン　**重要度が高く、満足度が低い**
6.子育て支援の体制
7.高齢者や障がい者の福祉体制
8.地域で支え合う福祉
9.地域医療や救急医療の体制
17.道路網の整備
18.公共交通機関（鉄道、バスなど）の整備

Bゾーン　**重要度が高く、満足度も高い**
1.学校教育
2.家庭や地域と学校の連携
5.健康づくりの機会
10.生活環境（上下水道、公園・緑地、公害対策など）
11.自然環境の保全（河川、里山、など）
12.ゴミ処理（分別）やリサイクル運動（資源物収集・再資源化など）
19.防災体制（自主防災組織、防災訓練、消防、救急救助など）
20.防犯対策（青色パトロール、防犯灯など）
21.交通安全対策（信号機、標識、ガードレールなど）

Cゾーン　**重要度が低く、満足度も低い**
3.生涯学習（スポーツ・芸術・文化活動など）の機会
4.文化財の保存・活用
14.商工業・観光の振興　（パンフレット作成・配布、キャンペーンなど）
15.農林業の振興（地産地消の推進など）
16.雇用や起業支援（情報提供など）
25.人権尊重・男女共同参画社会
26.他地域や外国人との交流

Dゾーン　**重要度が低く、満足度は高い**
13.住民主体の環境保全活動
22.住民参加・協働のまちづくり
23.情報公開、広報活動（協議会たより、回覧、掲示板など）
24.イベント、地域のまつりによるにぎわいづくり

重要度は高いが、満足度は低い（Aゾーン）の項目は取組むべき最大の課題と考える。
BゾーンやCゾーンの項目も課題として除外するものではない。

市民体育祭

4.2. 「どのような地域づくりを進めたいか？」の回答について

排水地域全体の回答

	○印	なし	計
1.自然環境に恵まれたまち	1,317	1,822	3,139
2.農業を主体としたまち	289	2,850	3,139
3.工業の充実したまち	88	3,051	3,139
4.商業・サービス業を充実したまち	316	2,823	3,139
5.地域資源を活かした観光を中心としたまち	192	2,947	3,139
6.医療・保健・福祉施設が充実したまち	1,541	1,598	3,139
7.歴史と伝統を活かしたまち	265	2,874	3,139
8.教育・学習・スポーツ施設が充実したまち	820	2,319	3,139
9.都市機能が集積したまち	135	3,004	3,139
10.賑わい・交流が活発なまち	310	2,829	3,139
11.高齢者、障がい者に住みやすいまち	1,354	1,785	3,139
12.コミュニティー活動が盛んなまち	352	2,787	3,139
13.安全防災機能が充実した、安心・安全なまち	1,430	1,709	3,139
14.若い世代が住みよいまち	1,146	1,993	3,139
15.現状のままでよい	206	2,933	3,139
16.その他（　　）	15	3,124	3,139

1000ポイント以上の項目を色塗りした。

じゃがいも収穫祭

防災訓練

4.3.地域の課題

「満足度・重要度」、「どんなまちにしたいか」および自由意見の集計結果を検討し下記の項目を重点に地域の課題として更に検討することとなった。

1.自然環境にめぐまれたまちづくり
2.医療・保健・福祉施設が充実したまちづくり
3.高齢者・障害者等の弱者が住みよいまちづくり
4.教育・学習・スポーツ施設が充実したまちづくり
5.安全防災機能が充実した、安心・安全なまちづくり
6.若い世代が住みよいまちづくり

4.4地域の将来像

みんなで創る　元気で仲良く　楽しいまち

4.5.取組むべきテーマの設定と目指す姿

最終的に下記の4つのテーマに取り組むこととした。

テーマ	テーマの目的・目指す姿
美しい自然と環境に取り組むまち	自然環境保全やゴミ減量等により、美しい環境の中で豊かな気持ちでくらせるまちづくり。
みんなが助け合い、 健康でいきいきと暮らせるまち	赤ちゃんからお年寄りまで元気に・健康に暮らせるよう住民が支え合い、相互啓発して健康の維持向上を進めるまちづくり。
交流や学びを活発に 伝統文化を伝承するまち	世代や地域を越えた交流を活発にし、地域の歴史や伝統文化を学び合い伝承してゆくまちづくり。 高齢者世代と若い世代の交流による情操教育が盛んなまちづくり。
安全で安心して暮らせるまち	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくり。 自然災害への防災機能が充実した安全・安心なまちづくり。

それぞれのテーマについて分科会で検討し施策を提言することとなり、各分科会の編成をし平成26年2月より更なる調査・検討を行い8月に提言が出された。

更に関係団体や住民公聴会での意見を踏まえ将来計画（地域計画）が策定された。

5.事業計画

各分科会で検討・提言された事業計画を下記に示す。

5.1.分科会別の将来計画

(1)美しいまちづくり分科会

	事業名	事業内容	事業の目的・効果	事業主体	期間	実施時期
1	用排水路の小川化	常時水を流し生活排水の汚水溜りを防ぎ、魚が住める環境を取り戻す	綺麗な水の流れがあるまち。生物多様性の復活	松阪市、三重県	長期	30-
2	住宅地の公園の再活用	一時避難場所、高齢者交流の場づくり	新たな活用による公園の管理ができる	協議会、関係団体	中期	28-31
3	総合運動公園の景観・環境改善	植樹などのイベント実施	公園の保水性向上による土砂流出防止。里山の景観。	協議会、松阪市	長期	27-
4	水辺の憩いの場の造成	水辺の憩いの場造成により水生生物を育てる。有害外来魚の撲滅。	水環境の大切さのこどもへの教育。大人との交流の場作り。	関係団体	長期	30-35
5	特定資源ゴミの資金化	特定資源物の回収方法の検討	ゴミ減量。財源化。	協議会、関係団体	短期	27-28
6	段ボールコンポストの普及	家庭ゴミの堆肥化の研修会	生ゴミの減少	協議会	短期	27-28
7	櫛田川清掃活動	松阪市の水源である櫛田川を清掃する	環境問題・ゴミ問題に関心を持つ	協議会	長期	実施中・継続
8	花いっぱい運動	花を植えまちかどに飾る	環境美化の意識向上	協議会	長期	実施中・継続
9	ペット糞処理の改善	ペット飼育者への啓発。市条例の改定要望。	住民の不快感の解消。	協議会	長期	27-

関係団体：公民館、市民センター、自治会、自治会連合会、小学校、幼稚園、PTA、中学校、老人会、福祉会、民生・児童委員、体育委員会、調理ボランティア、はつらつクラぶ、消防団、駐在所、商工会、交通安全協会、営農組合、土地改良区、その他

期間
短期 1～2年以内
中期 3～5年
長期 6年以上

文化祭

(2)元気に暮らせるまちづくり分科会

	事業名	事業内容	事業の目的・効果	事業主体	期間	実施時期
10	日本一ラジオ体操が盛んなまち	全地域でのラジオ体操の実施	健康づくり。絆づくり。安否確認。	協議会、関係団体	長期	27-
11	早寝、早起き、朝ご飯推進	早寝、早起き、朝ご飯呼びかけ運動	健康づくり。食育。	協議会、関係団体	中期	28-30
12	A・K・Oで会話の弾むまち	あいさつ・子育て応援・オアシス運動の習慣化	住民相互の気持ちの一体化	協議会、関係団体	長期	27-
13	高齢者見回りクラブ	高齢者世帯の安全確認組織の設置	高齢者の状況把握、困りごと、相談への対応し安全安心の確保。	協議会、関係団体	長期	28-
14	健康診断受診率向上	定期健康診断、ガン検診の受診推進	早期発見による健康管理。健康寿命の向上。	協議会、関係団体	長期	28-
15	健康づくりお誘い隊	お誘い隊、介護サポーターの養成	寝たきり予防。認知症予防。	協議会、関係団体	長期	27-
16	常設サロン	サロン設置場所、運営方法の検討	高齢者孤独化防止。住民交流。	協議会、関係団体	長期	28-
17	掃水ブランド事業	ビジネス展開の組織設置	高齢者の生きがい・生活支援。	協議会、関係団体	長期	28-
18	キネヅカ隊(シルバー人材センター)	高齢者宅へのサービス。一般家庭からの請負。	高齢者経験活用。	協議会、関係団体	長期	29-
19	子育てサロン	掃水版ハッピーくまさんの設置	子育てお母さんへの支援	協議会	長期	29-
20	わいわいがやがやウォーキング	毎月1回の歩こう会	健康づくり。絆づくり。友達作り。	協議会	長期	実施中・継続
21	元気度チェック	体力測定会の実施(1～2回/年)	自己の体力把握。記録活用による体力作り啓蒙。	協議会	中期	28-32

関係団体:公民館、市民センター、自治会、自治会連合会、小学校、幼稚園、PTA、中学校、老人会、福祉会、民生・児童委員、体育委員会、調理ボランティア、はつらつクラぶ、消防団、駐在所、商工会、交通安全協会、営農組合、土地改良区、その他

期間
短期 1～2年以内
中期 3～5年
長期 6年以上

櫛田川クリーン作戦

(3)交流と文化のまちづくり分科会

	事業名	事業内容	事業の目的・効果	事業主体	期間	実施時期
22	郷土博物館	文化財、歴史、民俗がわかる博物館の設置	常設展示で文化財や歴史を知る機会を増やす	協議会	長期	29-
23	歴史講演会、勉強会	サークル(勉強会)設置。イベントの実施。語り部養成。	文化財や歴史の発掘。地域への情報提供。	協議会	長期	29-
24	史跡めぐり	スタンプラリー等でスポットを巡る。	地区の文化財や歴史に触れる機会づくり	協議会	中期	実施中・継続
25	文化財データーベース	地区内に点在する文化財等をデーターベース化	文化財情報の保存と教材としての活用	協議会	長期	29-
26	伝統行事伝承	地区内の伝統行事をサポート。動画での記録をする。	地域への愛着心を高める。動画は復活時にも活用できる。	協議会、関係団体	長期	28-
27	親水スポット紹介	水遊びや釣りができるスポットを紹介	子供達が川で遊ぶ機会を増やす	協議会	短期	28-29
28	水辺の憩いの場の造成	水辺の憩いの場造成により水生生物を育てる。有害外来魚の撲滅。	水環境の大切さのこどもへの教育。大人との交流の場作り。	関係団体	長期	30-35
29	河川敷バーベキュー	櫛田川河川敷でバーベキューをする	櫛田川の再認識	協議会	短期	30-31
30	大人の交流イベント	有料ビアガーデンを活用	住民交流(アルコールもある気楽な交流)	協議会	短期	29-30
31	掃水版30歳成人式	30歳、40歳の成人式を口実に楽しみながら将来の夢を語り合う	社会経験者の地域貢献の意識醸成	協議会	中期	30-32
32	若者イベント・コンサート	パフォーマンス発表の場作り	若者の交流	協議会	短期	29-30
33	ワンデイサロン	地区内外の参加者によるサロン開催	新しいまちづくりの担い手や視点の発掘。	協議会	中期	27-29
34	1日シェフ	郷土料理や自慢料理をふるまう	料理名人の発掘と郷土の味の発信	協議会	短期	28-29
35	花樹園	自治会毎に公園や休耕田で花や果樹を育てる	協働作業での交流。	関係団体	長期	30-
36	常設サロン	サロン設置場所、運営方法の検討	高齢者孤独化防止。住民交流。	協議会、関係団体	長期	28-
37	フェイスブック開設	相互情報交換による協議会事業への意見聴取	双方向の情報発信による意見反映	協議会	長期	28-
38	ゆるキャラ作成	ゆるキャラの作成とその活用	ゆるキャラによる一体感の醸成	協議会	短期	28-29
39	Googleマイマップへの登録	店、公共施設、名所などを登録。ARによる自動解説。	地域情報の一覧化。情報利用による利便。	協議会	長期	28-

関係団体:公民館、市民センター、自治会、自治会連合会、小学校、幼稚園、PTA、中学校、老人会、福祉会、民生・児童委員、体育委員会、調理ボランティア、はつらつクラブ、消防団、駐在所、商工会、交通安全協会、営農組合、土地改良区、その他

期間
短期 1～2年以内
中期 3～5年
長期 6年以上

(4)安全安心なまちづくり分科会

	事業名	事業内容	事業の目的・効果	事業主体	期間	実施時期
40	通学路整備	通学路の見直し、危険個所の改善。	安全な通学	協議会、関係団体	短期	27-28
41	交通危険個所改良	ヒヤリハットによる危険個所の解消。標識、交通施設の整備。	道路の安全向上	松阪市	長期	27-
42	県道整備促進	松阪環状線の整備促進活動	安全な通学路、避難路の確保	三重県、関係団体	長期	27-
43	交通安全・防犯啓発	講習会、危険予知訓練等での啓発	高齢者の交通安全、防犯意識の向上	協議会	長期	27-
44	青パト(自主防犯パトロール隊)	パトロール経路・時間帯見直し。緊急事態の運用マニュアル作成。	犯罪抑止効果	協議会	長期	実施中・継続
45	防犯カメラ・防犯灯の設置	設置と維持管理。	犯罪抑止効果	協議会	長期	実施中・継続
46	緊急通報システム設置促進	高齢者緊急通報サービスの紹介。勉強会等の開催。	緊急事態対応	協議会	短期	28-29
47	防災カルテ作成	調査項目の検討。管理方法の検討。	要援護者の迅速な救助、避難誘導	関係団体	長期	28-
48	避難、防災、減災促進	自主防災隊、防災訓練、災害時連絡体制、防災無線の整備、避難場所等の充実。講演会開催。	防災意識の向上、避難時の供用体制の準備	協議会	長期	27-
49	避難、防災、減災促進	自主防災隊、防災訓練、災害時連絡体制、防災無線の整備、避難場所等の充実。講演会開催。	防災意識の向上、避難時の供用体制の準備	協議会	長期	27-

関係団体:公民館、市民センター、自治会、自治会連合会、小学校、幼稚園、PTA、中学校、老人会、福祉会、民生・児童委員、体育委員会、調理ボランティア、はつらつクラぶ、消防団、駐在所、商工会、交通安全協会、営農組合、土地改良区、その他

期間
短期 1～2年以内
中期 3～5年
長期 6年以上

紙芝居「奥田三角ものがたり」の上演

5.2.具体的事業計画　開始年度順

事業名	事業内容	事業の目的・効果	事業主体	期間	実施時期	27	28	29	30	31	32	33	34	35
史跡めぐり	スタンプラリー等でスポットを巡る。	地区の文化財や歴史に触れる機会づくり	協議会	中期	実施中・継続	■	■	■	■	■				
櫛田川清掃活動	松阪市の水源である櫛田川を清掃する	環境問題・ゴミ問題に関心を持つ	協議会	長期	実施中・継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■
花いっぱい運動	花を植えまちかどに飾る	環境美化の意識向上	協議会	長期	実施中・継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■
わいわいがやがやウォーキング	毎月1回の歩こう会	健康づくり。絆づくり。友達作り。	協議会	長期	実施中・継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■
青パト（自主防犯パトロール隊）	パトロール経路・時間帯見直し。緊急事態の運用マニュアル作成。	犯罪抑止効果	協議会	長期	実施中・継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■
防犯カメラ・防犯灯の設置	設置と維持管理。	犯罪抑止効果	協議会	長期	実施中・継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■
健康づくりお誘い隊	お誘い隊、介護サポーターの養成	寝たきり予防。認知症予防。	協議会、関係団体	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
A・K・Oで会話の弾むまち	あいさつ・子育て応援・オアシス運動の習慣化	住民相互の気持ちの一体化	協議会、関係団体	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
交通危険個所改良	ヒヤリハットによる危険個所の解消。標識、交通施設の整備。	道路の安全向上	松阪市	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
交通安全・防犯啓発	講習会、危険予知訓練等での啓発	高齢者の交通安全、防犯意識の向上	協議会	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
避難、防災、減災促進	自主防災隊、防災訓練、災害時連絡体制、防災無線の整備、避難場所等の充実。講演会開催。	防災意識の向上、避難時の供用体制の準備	協議会	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
県道整備促進	松阪環状線の整備促進活動	安全な通学路、避難路の確保	三重県、関係団体	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ペット糞処理の改善	ペット飼育者への啓発。市条例の改定要望。	住民の不快感の解消。	協議会	長期	27-	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ワンデイサロン	地区内外の参加者によるサロン開催	新しいまちづくりの担い手や視点の発掘。	協議会	中期	27-29	■	■	■	□	□	□	□	□	□
特定資源ゴミの資金化	特定資源物の回収方法の検討	ゴミ減量。財源化。	協議会、関係団体	短期	27-28	■	■	□	□	□	□	□	□	□
通学路整備	通学路の見直し、危険個所の改善。	安全な通学	協議会、関係団体	短期	27-28	■	■	□	□	□	□	□	□	□
段ボールコンポストの普及	家庭ゴミの堆肥化の研修会	生ゴミの減少	協議会	短期	27-28	■	■	□	□	□	□	□	□	□
日本一ラジオ体操が盛んなまち	全地域でのラジオ体操の実施	健康づくり。絆づくり。安否確認。	協議会、関係団体	長期	27-	▨	■	■	■	■	■	■	■	■
総合運動公園の景観・環境改善	植樹などのイベント実施	公園の保水性向上による土砂流出防止。里山の景観。	協議会、松阪市	長期	27-	▨	▨	▨	■	■	■	■	■	■
防災カルテ作成	調査項目の検討。管理方法の検討。	要援護者の迅速な救助、避難誘導	関係団体	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
健康診断受診率向上	定期健康診断、ガン検診の受診推進	早期発見による健康管理。健康寿命の向上。	協議会、関係団体	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
伝統行事伝承	地区内の伝統行事をサポート。動画での記録をする。	地域への愛着心を高める。動画は復活時にも活用できる。	協議会、関係団体	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
Googleマイマップへの登録	店、公共施設、名所などを登録。ARによる自動解説。	地域情報の一覧化。情報利用による利便。	協議会	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
高齢者見回りクラブ	高齢者世帯の安全確認組織の設置	高齢者の状況把握、困りごと、相談への対応し安全安心の確保。	協議会、関係団体	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
フェイスブック開設	相互情報交換による協議会事業への意見聴取	双方向の情報発信による意見反映	協議会	長期	28-	□	■	■	■	■	■	■	■	■
元気度チェック	体力測定会の実施（1～2回/年）	自己の体力把握。記録活用による体力作り啓蒙。	協議会	中期	28-32	□	■	■	■	■	□	□	□	□
早寝、早起き、朝ご飯推進	早寝、早起き、朝ご飯呼びかけ運動	健康づくり。食育。	協議会、関係団体	中期	28-30	□	■	■	■	□	□	□	□	□
親水スポット紹介	水遊びや釣りができるスポットを紹介	子供達が川で遊ぶ機会を増やす	協議会	短期	28-29	□	■	■	□	□	□	□	□	□
1日シェフ	郷土料理や自慢料理をふるまう	料理名人の発掘と郷土の味の発信	協議会	短期	28-29	□	■	■	□	□	□	□	□	□
ゆるキャラ作成	ゆるキャラの作成とその活用	ゆるキャラによる一体感の醸成	協議会	短期	28-29	□	■	■	□	□	□	□	□	□
緊急通報システム設置促進	高齢者緊急通報サービスの紹介。勉強会等の開催。	緊急事態対応	協議会	短期	28-29	□	■	■	□	□	□	□	□	□
住宅地の公園の再活用	一時避難場所、高齢者交流の場づくり	新たな活用による公園の管理ができる	協議会、関係団体	中期	28-31	□	▨	▨	▨	□	□	□	□	□
常設サロン	サロン設置場所、運営方法の検討	高齢者孤独化防止。住民交流。	協議会、関係団体	長期	28-	□	▨	▨	▨	■	■	■	■	■
揖水ブランド事業	ビジネス展開の組織設置	高齢者の生きがい・生活支援。	協議会、関係団体	長期	28-	□	□	▨	▨	■	■	■	■	■
歴史講演会、勉強会	サークル（勉強会）設置。イベントの実施。語り部養成。	文化財や歴史の発掘。地域への情報提供。	協議会	長期	29-	□	□	■	■	■	■	■	■	■
文化財データーベース	地区内に点在する文化財等をデーターベース化	文化財情報の保存と教材としての活用	協議会	長期	29-	□	□	■	■	■	■	■	■	■
大人の交流イベント	有料ビアガーデンを活用	住民交流（アルコールもある気楽な交流）	協議会	短期	29-30	□	□	■	■	■	■	■	■	■
若者イベント・コンサート	パフォーマンス発表の場作り	若者の交流	協議会	短期	29-30	□	□	■	■	■	■	■	■	■
子育てサロン	揖水版ハッピーくまさんの設置	子育てお母さんへの支援	協議会	長期	29-	□	□	▨	▨	■	■	■	■	■
郷土博物館	文化財、歴史、民俗がわかる博物館の設置	常設展示で文化財や歴史を知る機会を増やす	協議会	長期	29-	□	□	▨	▨	■	■	■	■	■
キネヅカ隊（シルバー人材センター）	高齢者宅へのサービス。一般家庭からの請負。	高齢者経験活用。	協議会、関係団体	長期	29-	□	□	▨	▨	■	■	■	■	■
用排水路の小川化	常時水を流し生活排水の汚水溜りを防ぎ、魚が住める環境を取り戻す	綺麗な水の流れがあるまち。生物多様性の復活	松阪市、三重県	長期	30-	□	□	□	■	■	■	■	■	■
揖水版30歳成人式	30歳、40歳の成人式を口実に楽しみながら将来の夢を語り合う	社会経験者の地域貢献の意識醸成	協議会	中期	30-32	□	□	□	■	■	□	□	□	□
河川敷バーベキュー	櫛田川河川敷でバーベキューをする	櫛田川の再認識	協議会	短期	30-31	□	□	□	■	□	□	□	□	□
花樹園	自治会毎に公園や休耕田で花や果樹を育てる	協働作業での交流。	関係団体	長期	30-	□	□	□	▨	▨	▨	▨	■	■
水辺の憩いの場の造成	水辺の憩いの場造成により水生生物を育てる。有害外来魚の撲滅。	水環境の大切さのこどもへの教育。大人との交流の場作り。	関係団体	長期	30-35	□	□	□	▨	▨	▨	▨	▨	■

関係団体：公民館、市民センター、自治会、自治会連合会、小学校、幼稚園、PTA、中学校、老人会、福祉会、民生・児童委員、
体育委員会、調理ボランティア、はつらつクラブ、消防団、駐在所、商工会、交通安全協会、営農組合、土地改良区、その他

期間
短期 1～2年以内
中期 3～5年
長期 6年以上

▦ 既に実施しており改善を加え
▨ 検討および準備の期間
■ 実施

5.3.具体的事業計画の詳細

27年度に取組む事業のみ掲載する

No.	24	事業名	史跡めぐり						
具体的な地域課題		掃水地区の歴史資産や文化財が多々あるが、それらを継ぐ人が少なくなっている。							
現状と目的・課題		掃水地区の歴史、民話や文化財を知る場所、機会が少ない							
具体的な解決策		地域住民に歴史資産や文化財、伝統行事に触れる機会をつくる							
事業の詳細説明		まちづくり協議会内に担当の部門を設置し、効果的な活動計画を作る							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●				

No.	7	事業名	櫛田川清掃活動						
具体的な地域課題		地域の美観を維持・改善する							
現状と目的・課題		櫛田川クリーン作戦を毎年行っており、環境意識向上に成果はあるものの、地域全体にその効果を拡げることが必要							
具体的な解決策		櫛田川クリーン作戦と併行して各地域でも清掃活動に取り組む							
事業の詳細説明		環境美化部が中心となり従来よりの櫛田川クリーン作戦の改善をする							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	8	事業名	花いっぱい運動						
具体的な地域課題		地域の美観を維持・改善する							
現状と目的・課題		地域内に花のプランターを配布している							
具体的な解決策		活動状況が良く知られ住民も花を植えるように拡げる							
事業の詳細説明		花いっぱい運動の趣旨をPRするなどの改善をする							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	20	事業名	わいわいがやがやウォーキング						
具体的な地域課題		地域の健康促進の機会を増やす							
現状と目的・課題		健康づくり、友達づくり、絆づくりを兼ねた事業とする。従来は年1回開催してきた。							
具体的な解決策		月1回の歩こう会を行う							
事業の詳細説明		月1回の歩こう会開催の具体的な実施計画作成と実施							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	44	事業名	青パト(自主防犯パトロール隊)						
具体的な地域課題		窃盗、器物破損、不審者の出没が起こっている							
現状と目的・課題		地域内での犯罪抑止効果の向上を図る							
具体的な解決策		パトロール経路・時間帯、広報内容の見直し、							
事業の詳細説明		青パト隊の運用マニュアルの作成をする							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	45	事業名	防犯カメラ・防犯灯の設置						
具体的な地域課題		窃盗、器物破損、不審者の出没が起こっている							
現状と目的・課題		地域内での犯罪抑止効果の向上を図る							
具体的な解決策		従来よりの防犯灯だけでなく、防犯カメラの設置も含めた取り組みをする							
事業の詳細説明		防犯カメラの維持管理について検討しマニュアル化する							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	15	事業名	健康づくりお誘い隊						
具体的な地域課題		地域の健康促進の機会を増やす							
現状と目的・課題		健康で寝たきりにならない身体をつくる、認知証の予防							
具体的な解決策		お誘い隊の養成、介護いきいきサポーターの拡大							
事業の詳細説明		健康づくりお誘い隊養成講座への参加促進							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	12	事業名	AKOで会話の弾むまち						
具体的な地域課題		地域の住民相互の気持ちの一体化							
現状と目的・課題		あいさつで気持ち良く、子育て応援運動、モラルの向上明るい社会を目指す							
具体的な解決策		あいさつ、子育て支援、オアシス運動の習慣化							
事業の詳細説明		習慣化の具体化をする							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	41	事業名	交通危険個所改良						
具体的な地域課題		県道37号線の交通事故発生の危険個所がある							
現状と目的・課題		交通の流れを適切に誘導し、安全な交通環境を整える							
具体的な解決策		地域内での交通事故発生の危険個所の撲滅							
事業の詳細説明		ヒヤリハットによる危険個所の解消。標識、交通設備の整備。							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	43	事業名	交通安全・防犯啓発						
具体的な地域課題		交通事故、窃盗、器物破損、不審者の出没、振り込め詐欺への被害を防止する							
現状と目的・課題		交通安全・防犯意識の向上による高齢者等が被災しない安心な生活							
具体的な解決策		交通安全教室、消費生活トラブルや犯罪防止に関する講演会の実施							
事業の詳細説明		講習会の実施と参加の呼びかけ							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	48,49	事業名	避難、防災、減災促進						
具体的な地域課題		防災意識を常に持ち続けるために定期的な啓発活動・訓練が必要							
現状と目的・課題		防災に関する意識の向上、防災体制と災害時の活動体制の構築							
具体的な解決策		地域自主防災隊の充実、災害時の連絡体制整備、防災講習会							
事業の詳細説明		防災教育、啓発活動、避難・防災・減災活動等の推進							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	42	事業名	県道整備促進						
具体的な地域課題		近鉄をまたぐアクセスは櫛田駅東踏切しかない							
現状と目的・課題		渋滞の緩和、歩道設置による通学路の安全確保、避難路としての活用							
具体的な解決策		松阪環状線(豊原～下七見)整備促進							
事業の詳細説明		早期開通に向けての関係官庁への陳情							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	9	事業名	ペット糞処理の改善
具体的な地域課題		ペットの糞の放置。公徳心の欠如	
現状と目的・課題		住民の不快感の解消	
具体的な解決策		ペット飼育者への啓発。市条例の改定要望。	
事業の詳細説明		ペット飼育者の意識啓発。条例に罰則規定を設ける働き掛け。	

年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	33	事業名	ワンデイサロン
具体的な地域課題		人々が気軽に集まれる場所(サロン)がない	
現状と目的・課題		新しいまちづくりの担い手や視点の発掘が必要	
具体的な解決策		地区内外の住民や中学・高校生も参加し交流を深めると共に、違う観点から見た新しいまちづくりをめざす	
事業の詳細説明		気軽な雰囲気で、お菓子など食べながら自由に発言してもらう	

年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●						

No.	5	事業名	特定資源ゴミの資金化
具体的な地域課題		ゴミ減量と活動資金の確保	
現状と目的・課題		一般家庭では特定資源ゴミを回収日まで置いておく場所がない	
具体的な解決策		特定資源ゴミの回収方法の検討	
事業の詳細説明		ゴミ分別・リサイクル運動のもう一段上の啓発活動をする	

年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●							

No.	40	事業名	通学路整備
具体的な地域課題		歩道のない通学路が大部分。	
現状と目的・課題		通勤・通学の時間帯は主要道理は渋滞し、旧道・脇道が抜け道となっている。	
具体的な解決策		道路環境の改善により児童・生徒が安全に安心して通学できるようにする	
事業の詳細説明		関係者による委員会設置。通学経路の見直し。危険個所の洗い出し。	

年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●							

No.	6	事業名	段ボールコンポストの普及						
具体的な地域課題		生ゴミ堆肥化の普及度が低い							
現状と目的・課題		生ゴミの減量をはかる							
具体的な解決策		段ボールコンポストの普及活動							
事業の詳細説明		段ボールコンポストによる堆肥化の研究、研修会を行う							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●							

No.	10	事業名	日本一ラジオ体操が盛んなまち						
具体的な地域課題		地域の絆を強固にし、健康と安全確認をすすめる							
現状と目的・課題		①健康づくり。②毎朝顔を合わせ絆づくり。③安否確認。							
具体的な解決策		ラジオ体操の習慣化							
事業の詳細説明		毎日のラジオ体操を各地域・各町内でおこなう。(講習会実施)							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	3	事業名	総合運動公園の景観・環境改善						
具体的な地域課題		山を削ったことによる雨水の保水性の低下、土砂の流出が起こりつつある							
現状と目的・課題		公園の保水性を高め土砂の流出を防ぐ。里山の景観にし周りの里山との調和をはかる。							
具体的な解決策		植樹等による景観の改善と土砂流出の改善							
事業の詳細説明		全市民参加の植樹等のイベントを行う							
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	●	●	●	●	●	●	●	●	●

上記は基本的計画であり、状況に応じ毎年見直してゆく

6.資料

6.1.分科会の構成

	分科会名			
	美しいまち	元気に暮らせるまち	交流と文化のまち	安全安心なまち
分科会座長(専門委員から選出)	浅井 廣喜	園部 勉	宮崎 浩成	木村 重夫
まちづくり協議会関連部会長	控井 昇	宇佐見 治代	村居 俊子	鈴木 則男
	間瀬 善樹	池田 稔		
まちづくり将来計画作成委員会	脇田 博之	園部 勉	松井 淳	木村 重夫
	浅井 廣喜		高木 幸子	
			宮崎 浩成	
行政関係者や有識者 連絡	櫛田地区市民センタ	健康推進課	コミュニティ推進課	監査委員事務局
	(環境部)	(健康推進課)	(教育委員会)	(安全防災課)
	堀口理絵子	奥田隆利	小路裕弘	三宅義則
		鈴木由香	中西士典	
公募委員	佐伯 正克	早川美恵子	村林 達男	池田 正司
		西口 裕		高田 勇孝
				西口のり子

6.2「アンケートによる住民意識調査」

平成25年11月に報告書にまとめ、発行した。(希望者には配布します)

掃水まちづくり協議会のインターネットホームページで閲覧することが出来ます。

URL: http://teisuiweb.fc2.com/newpage39.html

または次の手順で見られます。

「掃水まちづくり協議会」ホームページ
↓
「掃水情報」
↓
「2.将来計画(地域計画)」
↓
「1.アンケートによる住民意識調査報告書(平成25年11月発行)」

7.新しい地域作りのスタートにあたって

地域創りは「住民力」と「支え合い」で

掃水地域のみんなでつくりあげた「地域の将来計画」がこのようにご報告出来るようになりました。平成24年5月のまちづくり将来計画作成委員会の設立に始まり、この地区の中学生以上の皆様全員にご回答いただいたアンケート調査の実施、アンケートの結果分析、分科会の設置、将来計画素案の説明会・意見聴取会の開催、委員会での調整・纏めを経て役員会の承認を得るに至りました。そして平成27年度総会に於いて承認を頂き「地域将来計画」が確定します。つまり、会員の皆様の総意に基ずく「地域将来像」の基本設計図が完成します。
改めまして皆様の御協力、御尽力に御礼申し上げます。

そして平成27年度からはこの基本設計図を「かたち」として創り上げる事業即ち「まち創り事業」が開始されます。具体的な手順としては、

①「まち創り事業」の事業別実行計画を作成する。

②事業別実行計画に基づいて事業を実施する。

③実施結果を検証し事業実行計画に反映する

と言う一連の**「事業管理のサイクル」**を廻さなくては為りません。更に大切な事は従来よりの「絆づくり事業」との調整を図ることで、事業効果をより高める工夫をする事です。この様な状況を踏まえ、27年度から始まる「まち創り事業」と従来よりの「絆づくり事業」の同時実施を成功させる為には、まちづくり本部役員、部会関係者の方は勿論、関係団体、行政、そして何よりも「全会員皆様の、意識、認識、見識、知識、能力を結集する」事が絶対必要条件と成ります。これにより、掃水まちづくり協議会が目指す「みんなで創る　元気で仲良く　楽しいまち」が実現出来るものと確信しております。

そのキーワードは**「みんなで創る」**であります。今こそ「絆づくり事業」の実施を通して、発掘され、育て、培かわれた**「住民力」「支え合い」**が必要とされる時であります。

4月より「松阪市まちづくりネクストステージ」のとしての活動が始まります。掃水まちづくり協議会会長と致しましては「元気で仲良く　楽しいまち」の実現を目指し**「住民力」「支え合い」**を基盤とした**「事業を確実に実施できる体制」**を構築し**「事業管理のサイクルが円滑に廻る」**仕組みと方策作りに全力で取り組む覚悟で御座います。
一層の御理解、御協力、御尽力をお願い申し上げます。

掃水まちづくり協議会
会長　　葉山　和則